

市政のここが聴きたい！

一般質問

10議員が登壇

傍聴者延べ41名

一般質問とは、議員が市政全般にわたり市長をはじめ執行機関側に、事業の執行状況や将来の方針などを質問し、説明を求めるものです。

※一般質問の様子もホームページで録画配信中ですのでご覧ください。



シビックプライドについて

鈴木 健夫

問 地域に対する住民の誇りや自負心を喚起することができるシビックプライドの醸成をどのように考えているか。

答 地域に魅力や愛着を感じ、誇りを持てるようなまちづくりを進め、住み続けたいと感じる人を増やす取り組みが重要であり、多くの人が本市に対して誇りや愛着を持ち、自分のまちに積極的に関わる意識が高まるシビックプライドの醸成は重要であると考える。

公用車へのEV導入について

問 ガソリン車から、走行時に二酸化炭素を排出しないEVへの転換は、今、大きな社会の潮流となっている。平時における各種イベントの電源供給用として、また、災害時における非常用電源として活用できるEVを公用車に導入することにつ

いての見解は。

答 市では、昨年2月に西部5市による「ゼロカーボンシティ」共同宣言をしたところであり、特にEVは災害発生による停電時やガソリン等燃料の入手困難時の電気供給源として注目されていることを踏まえ、令和4年度にEVを公用車として1台導入したいと考えている。今後、導入しやすい環境が整った段階で公用車のEV化を図ってきたい。

急速充電設備の設置について

問 EV公用車だけで利用するのではなく、開庁時間内であれば無料で市民も利用できるように、市役所駐車場の空きスペースに、EV活用のための急速充電設備を設置する考えは。

答 設備の新設に要する費用や給電に要する電気

料金などに課題があるが、今後、広く充電設備が普及し、需要が増した段階で検討したい。



EV車と急速充電設備

防災協定締結について

問 災害時にEVを活用した電力供給が可能になる防災協定締結をどう考えているか。

答 プラグインハイブリッド車や燃料電池車などの電動車を災害時の電源として活用できるように、自動車メーカーや事業者と協定締結の準備を進めていく。